

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(教育委員会事務局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	20201010	キャリア在り方生き方教育推進事業	その他	将来の社会的自立に必要な能力や態度を育む教育を全校でより効果的に実践するため、啓発資料の配布や研修により、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築や、家庭との連携を図ります。	●市立学校179校におけるキャリア在り方生き方教育の実施(担当者研修会:3回、学校等訪問研修会149回) ●「キャリア在り方生き方ノート」に加えた「市制100周年」に関するページを活用した活動案作成と、長期研究員による「キャリア・パスポート」の活用に関する研究会議の実施。 ●ICTを活用したポートフォリオについての担当者向けアンケートの実施 ●研究推進校(東小倉小学校・川崎高等学校附属中学校)の研究を支援し、情報交換会3回実施。担当者研修会での実践報告 ●市制100周年との関係について理解を深めることができる保護者向けリーフレットを作成・配布	7,232	7,199	3	P2
2	20201020	学力調査・授業改善研究事業	その他	子どもたちの資質・能力の定着状況を把握するために調査・研究を行い、その結果を活用して、子どもたちが「分かる」を実感できる授業づくりを推進します。	●市学習状況調査の実施 ●「生活や学習に関するアンケート」調査の実施及び調査結果の活用 ●モデル校(小学校3校、中学校1校)での研究成果のもと、新しい市学習状況調査の調査項目、実施方法、活用方法等を検討 ●市学習状況調査及び令和5年度全国学力・学習状況調査の実施と、全国学力学習状況調査、市学習状況調査の結果に基づいた担当者会(調査結果説明・授業改善に向けた取組)を動画配信にて実施 ●学習指導要領の改訂内容に対応した実践事例集の作成・配布	115,956	112,927	3	P4
3	20201030	きめ細かな指導推進事業	その他	習熟の程度に応じた、きめ細かな指導の充実のために、より有効な指導形態や指導方法について研究実践を進めます。	●GIGA端末のドリルソフトを活用したきめ細やかな指導の情報共有と担当者会の実施 ●小中9年間を見通した算数・数学の習熟の程度に応じた指導の実施 ●「きめ細やかな指導 実践編」の冊子・映像教材の活用や各校種での事例の情報共有 ●学校の実情に応じた少人数指導・少人数学級等の実施と各学校の取組の共有	126,134	102,280	3	P6
4	20201040	英語教育推進事業	その他	外国人と直接コミュニケーションを図る機会を増やし、異文化を受容する態度を育成するため、研修の充実により教員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を活用する等、英語教育を推進します。	●英語教育推進リーダーが研修会講師等への活用推進 ●ALTの配置・活用による英語教育の推進(小中高合計113名) ●中核英語教員(CET)への研修(3回)を実施し、小学校にけるCETを中心とした指導体制を整備 ●外国語教育指導力向上研修(中学校2回、高等学校2回)を実施 ●小学校(外国語)教員養成課程修了者の採用	544,216	523,108	3	P8
5	20201050	理科教育推進事業	その他	理科支援員の配置や中核的理科教員(CST)の養成などにより、若い教員の授業力向上や観察・実験の機会の充実を図り、子どもたちが興味・関心を持って主体的に学習に取り組める魅力ある理科教育を推進します。また、企業や研究機関、大学と連携して、技術者、研究者による派遣授業などの実施を支援します。	●理科支援員の全小学校配置による理科教育の推進 ●横浜国立大学との共同による中核的理科教員(CST)養成プログラムの実施とCSTの活動の充実(CST養成数:76人、CSTIによる研修数:6回) ●先端科学技術者の派遣授業の実施(実施回数:17回)	17,062	17,074	3	P10
6	20201070	読書のまち・かわさき推進事業	その他	子どもから大人までが読書に親しめるよう、様々な読書活動を推進するため、学校司書の配置による読書環境の整備など、「読書のまち・かわさき子ども読書活動推進計画」に基づく取組を推進します。	・「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画」に基づく、家庭・地域・学校における読書活動の推進 ・総括学校司書の配置(18校)及び学校司書の配置(92校) ・図書ボランティアによる学校図書館の環境整備や読み聞かせ等により読書活動を推進 ・司書教諭等の研修の実施(26回) ・児童生徒(学校)の表彰、川崎フロンターレ等との協働した取組の実施	80,227	69,609	3	P12

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
7	20201080	子どもの音楽活動推進事業	イベント等	音楽のすばらしさを味わい、体験することを通して、子どもたちの豊かな感性を育み、生涯を通じて音楽を愛好する心情を育てられるよう、本格的なオーケストラ鑑賞や、市内の貴重な音楽資源を活用した音楽の体験活動を推進します。	●「子どものためのオーケストラ鑑賞」を、実施(計11,049人) ●「子どもの音楽の祭典」を実施 ●「ジュニア音楽リーダー」の実施(目標20校に対して、学校の参加希望日程が折り合わず、18校で実施)	29,303	28,364	3	P14
8	20201090	人権尊重教育推進事業	その他	人権尊重教育を意識した教育活動や研修等を行うことで、児童生徒、教職員、保護者の人権感覚を育み、人権意識の向上及び「子どもの権利に関する条例」の周知と正しい理解の促進を図ります。	●人権尊重教育推進会議の書面開催(1回実施) ●教職員を対象とした研修の実施(研修参加者数:延べ4,051人) ●人権教育補助教材や子どもの権利学習資料、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」リーフレット等の活用 ●子どもの権利学習派遣事業の実施(派遣学級数:272学級)	7,026	6,500	3	P16
9	20201100	多文化共生教育推進事業	その他	児童生徒の異文化理解と相互尊重を目指した学習を推進し、多文化共生と多様性を尊重した意識と態度の育成を図ります。	●民族文化の紹介や指導等を行う外国人市民等を「民族文化講師」として派遣(72校、延べ222人) ●外国人教育推進連絡会議の書面開催を通じた情報交換(1回実施) ●「学校の中でできる多文化ふれあい交流会」をオンラインと対面のハイブリット形式で開催(1回実施)	1,595	1,414	3	P18
10	20201110	子どもの体力向上推進事業	その他	児童生徒の健全な心身の育成を目指し、地域スポーツ人材を活用しながら学校体育活動を充実するなど、児童生徒の体力向上につながる取組を進めます。	●中学校総合体育大会と小学校陸上記録会を実施(市立小学校地区別運動会は各学校開催で実施) ●「キラキラタイム」の成果を競う「kawasaki キラキラ みんなでチャレンジ」を実施(19校) ●部活動指導員を派遣(13校で複数配置を達成したが、目標66人に対して実績62人)	72,517	66,944	4	P20
11	20201120	健康教育推進事業	その他	すこやかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理の実施、学校医等の配置を行います。また、望ましい生活習慣の確立、心の健康保持、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、健康教育の充実を図ります。	●喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の健康教育の推進(薬物乱用防止教室は、実施を予定していた57校全校において実施) ●アレルギー疾患への適切な対応のための研修の実施 ●学校保健安全法に基づく各種健康診断の実施 ●スクールヘルスリーダー派遣による若手の養護教諭等への支援(6校へ派遣)	634,958	644,623	3	P22
12	20201140	健康給食推進事業	その他	児童生徒の健全な身体の発達に資するために、安全で安心な学校給食の提供を効率的に行うとともに、小中9年間にわたる一貫した食育を推進します。	●「かわさきそだち」の野菜を使用するなど、川崎らしい特色ある「健康給食」の推進 ●学校間の連携強化等による小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進 ●中学校給食の円滑な実施 ●小学校及び特別支援学校の老朽機器更新による給食の実施(機器更新:35校、新規委託:4校) ●学校給食会の運営支援 ●学校給食費の適正な徴収	12,027,927	11,868,151	3	P24
13	20201150	教育の情報化推進事業	その他	「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づき、ICT機器整備や学校業務の効率化に向けた取組を推進します。	●「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づく19の重点事項における各事務事業の推進 ●情報化推進モデル校2校において児童生徒の学校生活と学習の状況を把握し、指導や評価に活かすための研究及び研究報告の実施 ●情報モラル教育の充実と家庭との連携推進のため、希望研修を1回、リクエスト研修を4回実施 ●学習活動等で必要となるICT機器の更新・整備について、小学校1校、特別支援学校4校、高等学校3校の機器更新を実施 ●校務支援システムの活用を中心とした教職員の働き方改革の推進について、効率的な帳票作成を目的とした研修を4回行うとともに、資産管理システムによる外部可搬媒体の制御による適切な活用を推進 ●ネットワーク環境の充実に向けた取組の推進について、国の動向を注視しながら、ネットワーク環境の在り方について検討を継続	1,658,979	1,634,809	3	P26

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
14	20201155	かわさきGIGAスクール構想推進事業	その他	「かわさきGIGAスクール構想」に基づき、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、児童生徒の情報活用能力の育成、教員の指導力の向上、スタディ・ログの効果的な活用等の取組を推進します。	●推進協力校13校、研究推進校1校における支援を通して、かわさきGIGAスクール構想ステップ2の実現に向けた研究を推進するとともに、授業公開等を通して研究成果を横展開 ●教育委員会内の他部署と連携して「かわさきGIGAスクール構想教職員向けハンドブックステップ3」の作成及び研修 ●小・中・特別支援学校へICT支援員を派遣(計1,690回) ●教職員のニーズやステージに応じて、希望研修を20回、リクエスト研修を12回実施 ●デジタル教科書の活用に向け、国の実証事業に参加するとともに、研修会を1回開催。庁内各部署のデジタル副読本作成を支援し、16コンテンツの副読本をサイトに掲載 ●市・学校・学級・個人単位でのスタディ・ログの活用に向けた研究を行い、データ活用について学校でGIGAスクール構想を推進する教師(GSL)に研修を実施 ●年度当初の児童生徒数の増加及び年度途中の追加にも迅速にGIGA端末を追加配当するとともに、通信環境についても適切な保守・管理を実施	1,513,683	1,451,269	3	P28
15	20201160	魅力ある高校教育の推進事業	その他	「市立高等学校改革推進計画」に基づき、生徒・保護者・市民のニーズに応じた魅力ある高校づくりを進めるとともに、川崎高等学校及び附属中学校における中高一貫教育や、定時制課程の生徒の自立支援の推進を図ります。	●図書館開放を実施(239日)。聴講生制度の講座を計画どおり週当たり2コマ、開放講座を目標6回に対して9回開催 ●定時制課程の生徒の将来の自立に向け、4校で相談・支援を実施 ●川崎高等学校及び附属中学校において、体系的・継続的な中高一貫教育を推進	27,455	22,708	3	P30
16	20201180	道徳教育推進事業	その他	児童生徒が、生命を大切にすることや他者と協調し他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を養うことができるよう、「特別の教科 道徳」を要として、学校教育全体を通じて行う道徳教育の充実を図ります。	●学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、担当者の研修を2回実施(双方向型オンラインと集合型) ●教員経験5年目以下の教員(約250名)を対象とした研修を2回実施(講演会と授業研究会)	55	50	3	P32
17	20202020	特別支援教育推進事業	その他	「第2期特別支援教育推進計画」に基づき、共生社会の形成を目指した支援教育の推進や、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の整備、小・中・高等学校における支援体制の構築、教職員の専門性の向上等を図ります。	●特別支援学校のセンター的機能による訪問校数113校(目標111校)、通級指導教室のセンター的機能による訪問数1,624回(目標1,285回) ●小学校通級指導教室の幸区エリア拠点校の設置とともに、先行して巡回方式を実施していた宮前区、川崎区、幸区に続き、高津区、多摩区でも導入 ●改訂版のサポートノートを活用した切れ目のない適切な引継ぎの促進 ●特別支援教育の必修研修・希望研修を36回実施(目標30回) ●医療的ケアを必要とする児童生徒の支援の実施(30名)と支援体制の充実 ●長期入院・入所児童生徒への学習支援の実施 ●小・中・高等学校への特別支援教育サポーターを22,413回配置(目標19,330回) ●小・中学校の特別支援学級における介助支援人材を20校に配置 ●健康福祉局等関係機関と連携し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた、切れ目ない支援を実施 ●就労支援について、事業者等と連携し、適切に実施 ●中央支援学校大戸分教室及び高等部分教室の教育環境の改善に向けた設計等を実施。また、県立特別支援学校の設置に向けた県との協議・調整の実施 ●児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習の実施	1,277,688	730,981	3	P36

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
18	20202030	共生・共育推進事業	その他	豊かな人間関係を育む「かわさき共生・共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図ります。また、プログラムの「効果測定」の活用により、子どもへの理解を深め、児童生徒指導の充実を図ります。	●各学校においてSOSの出し方・受け止め方教育のエクササイズを含む年間7時間を標準とした授業実施 ●年間2回の「かわさき共生・共育プログラム」推進担当研修会(4月・8月)の実施 ●研究協力校を含む要請校内研修等の実施(延べ45回)とともに、研究協力校情報交換会における新しい効果測定アンケートの成果や課題の共有 ●各学校におけるGIGA端末の整備によるネットワークコミュニケーションに対応したエクササイズやSOSの出し方・受け止め方に関するエクササイズの実施	2,997	2,320	3	P39
19	20202040	児童生徒支援・相談事業	その他	不登校やいじめの問題への対応とともに、子どもたちの豊かな心を育むため、支援教育コーディネーターやスクールカウンセラー等を配置し、活用を図ります。また、子どもが置かれている環境の調整を行うスクールソーシャルワーカーを各区に配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援します。	●市立小・中・高・特別支援学校に支援教育コーディネーターを配置し、新任研修7回を含む研修を実施 ●学校巡回カウンセラーを市立小学校・特別支援学校に月2回程度定期派遣(各学校年間22回程度) ●スクールソーシャルワーカーの派遣による、関係部署や関係機関と連携した適切な支援(配置人数:12人) ●多様な相談機能による相談支援の実施	698,134	641,822	3	P41
20	20202050	教育機会確保推進事業	その他	不登校の児童生徒の居場所として「ゆうゆう広場」を運営し、きめ細かな相談活動を通して、状況の改善を図り、社会的自立につなげるとともに、中学校夜間学級の運営を行い、教育の機会確保を図ります。	●不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援のための居場所としてのゆうゆう広場の運営(登録者数:252名) ●子どもたちの目線により近い支援・相談のためのメンタルフレンドの募集・配置と子どもたちの活動支援(メンタルフレンド配置数:延べ11名) ●西中原中学校夜間学級の運営及び希望者に対する入学・編入相談の充実 ●GIGA端末を活用し、長期欠席・不登校等の児童生徒へオンライン学習システムのアカウントを配布 ●不登校対策の充実に向けて、不登校特例校の先行自治体へのヒアリング、ICTの活用検討等を実施	83,875	76,466	3	P43
21	20202060	海外帰国・外国人児童生徒相談・支援事業	その他	海外帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導や学習支援等の充実を図るなど、多様なニーズに応じた支援を行います。	●各区教育担当や教育政策室、学校で教育相談を行い、日本語指導初期支援員を配置(新規配置255人) ●国際教室を担当する教員や巡回非常勤講師を対象に、日本語指導や人権尊重教育に関する研修を実施(7回) ●国際教室担当者及び非常勤講師の巡回により、日本語指導が必要な児童生徒がいる全ての学校で、特別の教育課程による日本語指導を実施 ●希望する学校等に通訳機器を配置(新規27台、計196台) ●学校等へ通訳者の派遣等の支援(468件) ●ブレスクールを全区で開催(20組参加)	114,394	118,582	3	P45
22	20202070	就学等支援事業	その他	就学援助費や特別支援教育就学奨励費、高等学校奨学金など、経済的支援を行うとともに、法令等に基づく、就学事務を適正に執行します。	●就学援助については、経済的に困窮している保護者に対して必要な援助を実施 ●特別支援就学奨励費については、特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者に対して就学奨励費を交付 ●奨学金については、修学困難な生徒に対する経済的支援を実施 ●就学事務システムを活用し、就学事務を円滑に実施	1,254,579	1,126,345	3	P47
23	20203010	学校安全推進事業	その他	スクールガード・リーダーや地域交通安全全員を配置し、登下校時の交通事故等、地域における様々な危険から子どもたちを守る取組を推進します。また、学校防災教育研究推進校による先進的な研究の推進や成果の共有等により、各学校の防災力の向上を図るとともに、子どもたちの防災意識を高めます。	●学校を巡回し、通学路の危険か所のチェックや防犯対策を行うスクールガード・リーダーの配置(全市で25名) ●踏切等の危険か所への地域交通安全全員の適正な配置 ●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険か所の改善の推進 ●学校防災教育研究推進校(7校)による先進的な研究の推進や、各学校の実態に応じた防災教育の推進	97,679	88,032	3	P49

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
24	20203020	学校施設長期保全計画推進事業	施設の 管理・運 営	既存学校施設の改修(再生整備・予防保全)により、老朽化対策、教育環境の質的向上及び環境対策を計画的に実施し、より多くの学校の教育環境を早期かつ効率的に改善するとともに、長寿命化を推進します。	●学校施設の長寿命化・再生整備の推進 ・校舎の工事(16校) ・体育館の工事(3校) ●給水管の適切な更新については、令和4年度予定の2校と令和5年度予定の4校合わせて6校完了。令和5年度予定の10校については入札不調等によるスケジュールの見直しにより、令和6年度以降の速やかな完了に向けて取組を推進	3,140,097	7,043,974	4	P51
25	20203030	学校施設環境改善事業	施設の 管理・運 営	教育環境の向上を目指し、トイレの快適化やバリアフリー化、普通教室の空調設備の更新等を進めます。また、地域の防災力の向上に向け、非構造部材の耐震化など、学校施設の防災機能の強化を図ります。	●既存校のエレベータ設置の推進(計画170校に対して実績171校完了) ●小中学校空調設備更新整備等事業について、事業者の募集と選定及び契約締結 ●非常用発電機等の適正な維持管理を実施	634,615	682,793	3	P53
26	20203040	学校施設維持管理事業	施設の 管理・運 営	学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などを計画的に実施します。	●学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などの実施 ●麻生区内学校施設包括管理業務について、包括事業者の募集と選定及び契約締結 ●大戸小学校において民間プール活用を試行実施。また、新川崎地区新設小学校(新小倉小学校)において民間プール活用に向けた取組の推進	4,379,326	3,776,853	3	P55
27	20203050	児童生徒数・学級数増加対策事業	施設の 管理・運 営	児童生徒数の増加や義務標準法改正(35人学級の段階的な実施)に的確に対応するため、各学校の児童生徒数の将来推計値に基づき、教室の転用、校舎の増改築、新校設置、通学区域の見直し等の適切な対応を図り、良好な教育環境の維持に努めます。	●住宅開発・人口動態を捉えた児童生徒数及び学級数の推計の実施 ●児童生徒数の動向等に応じた地域ごとの対応の検討 ●下作延地区における通学区域の見直し及び新川崎地区新設小学校(新小倉小学校)開校に向けた工事着手 ●校舎増築工事(完了:新作小、南百合丘小、継続:坂戸小)。坂戸小については、工事着手後に校門前の歩道下に水路構造物が埋設されていることが判明し、その対応に時間を要したことから、工期延長となり、工事が令和4、5年度から令和4、5、6年度へと変更、宮前平中については、入札不調のため、工事が令和5、6年度から令和6、7年度へと変更	4,466,462	2,296,774	4	P57
28	20204010	地域等による学校運営への参加促進事業	その他	学校・家庭・地域社会が一体となってよりよい教育の実現を目指し、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を拡充するとともに、その取組の成果を他の学校に波及させることで、「地域とともにある学校づくり」を推進します。	●学校運営協議会(92校)の実施 ●学校運営協議会の運営支援と次年度設置予定校(44校)への設置に向けた支援 ●コミュニティ・スクール連絡会の開催及びリーフレットを活用した実践成果の普及・啓発	9,594	4,475	3	P59
29	20204030	地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業	その他	地域人材の活用を図るとともに、学校の自主性・自律性を高めるなど、特色ある学校づくりを進めます。また、区・教育担当を中心に、関係機関と連携しながら、学校と地域との連携の強化や学校へのきめ細かな支援を推進します。	●「夢教育21推進事業」を全校で実施 ●全校で自己評価及び学校関係者評価を実施 ●ボランティアコーディネーターを130校に配置 ●小中連携教育担当者会での情報共有や小中連携教育実践報告での効果的な取組の共有 ●地域支援課や児童相談所等の関係機関と連携した子どもへの支援 ●各学校の特色に応じた予算調整の実施	5,689,472	4,488,321	3	P61
30	20204040	教職員研修事業	その他	子どもたちとともに学び続ける教職員であるために、育成指標に基づくライフステージに応じた教職員研修を推進します。特に、学校全体の教育力向上を目指して、若手教職員やミドルリーダーとなる中堅教職員の資質・能力の向上を図ります。	●育成指標に基づく研修を計画、実施(必修研修として37講座135回、希望研修を37講座95回、計74講座230回(目標230回))。特に、1人1台配布されたGIGA端末を効果的に活用し、単方向型(動画配信)及び双方向型オンライン研修の実施を推奨し、教職員が学び続けることができる研修体制を構築 ●かわさき教師塾「輝け☆明日の先生」を設置し、講話講義等を6回、演習等を6回、計12回(目標12回)実施	23,599	16,466	3	P63

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
31	20204060	教職員の選考・人事業務	その他	施策推進に資する定数算定を行うとともに、教職員採用についての検討改善等により創意と活力にあふれた優秀な人材を確保します。また、学校における教育活動の充実を図るため、教職員の意欲を引き出す人事異動を実施します。	●指導方法工夫改善担当教員から専科指導担当教員への更なる振替、教科担任制の導入・拡充等の工夫による、効率的・効果的な定数配当の実施 ●教員公募や、特別支援学校と特別支援学級間の人事異動による専門性の確保や、学校の実情に応じた非常勤講師配置等、適切かつ効果的な教職員配置の実施 ●教員採用試験説明会でのオンライン活用、デジタルコンテンツやSNSを活用した情報発信等の取組、大学推薦、教職経験、TOEIC等の資格を考慮した特別選考等による人物重視の採用選考の実施、より多様で優秀な人材の確保にむけた、大学3年生を対象とする試験の実施 ●教員定数が増加する中、定年前退職者の増加、全国的な教員のなり手不足等の影響により、小学校新規採用者数が募集数を下回るとともに、臨時的任用教員数が必要数を満たすことができず、国の標準(5年生まで35人)を超える学級編制(学級編制の弾力的運用)を許容	1,362,976	1,556,944	4	P65
32	20204070	学校業務マネジメント支援事業	その他	「教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」に基づき、業務の効率化や教職員の意識改革に向けた取組を推進するとともに、円滑な学校運営に資する支援を行います。	●令和5年度に外部講師による業務改善支援研修を9校で実施 ●小学校におけるより良い評価の在り方を踏まえて面談の導入、通知表前期所見欄の見直しを実施し業務改善の取組を推進 ●教職員勤務実態調査については、令和4年度に国において実施された勤務実態調査及び同調査結果(速報値)を参考に、本市における勤務実態調査として、教員の多忙感や負担感等を分析するための意識調査を実施するとともに、「第2次教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針」の改定を見据え、学校現場における課題感の実態や学校内部での更なる業務改善の可能性を視野に、小学校及び中学校校長会との意見交換会を開催 ●教職員事務支援員又は障害者就業員の全小・中学校配置継続による負担軽減の実施(166校) ●部活動指導員の配置拡充による負担軽減の実施(62名) ●学校法律相談の実施	625,331	558,718	3	P67
33	20301010	家庭教育支援事業	参加・協働の場	子どものすこやかな育ちの基盤となる家庭教育を支援する取組として、家庭の役割や子育ての重要性を学び、親同士の交流を促進する学級・講座等を実施します。また、PTA等による家庭教育に関する学習活動を支援します。	●PTAによる家庭教育学級開催の支援(開催数目標163校に対してR4:111校、R5:108校) ●全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による情報共有の推進(実施目標16回に対してR4:12回、R5:16回) ●企業や地域団体等と連携した家庭教育支援講座の実施(R4:2回、R5:1回)	2,311	1,086	3	P71
34	20301020	地域における教育活動の推進事業	参加・協働の場	地域社会で生き生きと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「子どもの権利に関する条例」に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進します。	●地域における取組の好事例や課題の共有をはじめ、担い手育成等、各行政区・各中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援を実施(ネットワーク推進会議2回、交流会1回、養成講座3回) ●市子ども会議を拡充し、より幅広い子どもの声をしっかりと受け止める仕組みを構築 ●地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施(参加者数:目標2,830人に対してR4:3,296人、R5:2,965人)	45,287	30,157	3	P73
35	20301030	地域の寺子屋事業	参加・協働の場	地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、地域が主体となって子どもたちに放課後週1回の学習支援と、土曜日等に月1回の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。	●地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進(開設数のR4目標93か所に対して89か所、R5目標117か所に対して95か所) ●養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材(寺子屋先生・寺子屋コーディネーター)の確保(R4目標1,250人に対して1,181人、R5目標1,500人に対して1,151人) ●地域の寺子屋推進フォーラムの開催による普及・啓発 ●地域ぐるみによる外国につながる子どもの学習支援等の推進	126,487	92,173	4	P75

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
36	20302010	社会教育振興事業	参加・協働の場	教育文化会館・市民館・分館において、市民の自主的・主体的な学びを支援していくため、学級・講座やイベント等を実施・開催します。また、社会教育を担う団体やボランティアの育成・支援、ネットワークづくりなどを通して、学習と活動がつながる好循環を生み出し、学習や活動を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めます。	●子育てや、平和・人権・男女平等など、市民館における社会教育振興事業の実施(目標300事業に対してR4:250事業、R5:269事業) ●市民が学びにより得た知識や経験等を身近な地域で活かす市民講師の養成講座の実施及び活用 ●市民提案・協働による課題解決型事業の推進、地域の生涯学習をコーディネートする人材の育成	63,140	50,810	4	P77
37	20302020	図書館運営事業	施設の管理・運営	市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・保存・提供するとともに、レファレンスの向上、インターネットやICTの活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら、効率的・効果的な図書館運営を目指します。	●多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保(R4:約89万タイトル、R5:約90.1万タイトル) ●ICT機器を活用した効率的な図書館の運営及び維持管理、試行導入している電子書籍の効果検証 ●図書館総合システムの更新及び円滑な運用 ●来館困難者、高齢者、障害者等への支援のほか、有料宅配サービスの実施	940,843	919,252	3	P79
38	20302030	生涯学習施設の環境整備事業	施設の管理・運営	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、身近な学校施設を有効活用するとともに、資産保有の最適化を踏まえた社会教育施設等の長寿命化を推進するなど、市民の生涯学習環境の充実に図ります。	●学校施設の更なる活用に向け、特別教室等の利用促進を図るための「Kawasaki教室シェアリング」及び全ての小学校で放課後の校庭を開放する「みんなの校庭プロジェクト」の取組を推進 ●老朽化した社会教育施設等の環境整備を実施 ●ハケ岳少年自然の家の再編整備について、施設の利用状況や建物の老朽化状況等を把握するとともに、長期的な安全性を考慮し、現地での再編整備の妥当性や富士見町内での移転整備の可能性等、幅広く検討を実施 ●幸市民館・図書館の改修に向けて、基本計画案の方向性の取りまとめを実施 【R4】教育文化会館の労働会館との再編整備の推進のため、「(仮称)川崎市民館・労働会館管理運営計画」を策定 【R5】実施設計を完了し、工事請負契約を締結 ●宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向け、再開発準備組合による「鷺沼駅前地区再開発計画の再検証結果報告」を踏まえ、必要機能や諸室の規模、配置等の検討を行い、基本設計を完了 【R4】市民館・図書館への市民ニーズの広がりや多様化に的確に対応するため、「市民館・図書館の管理・運営の考え方」を策定 【R5】指定管理者制度導入に伴う川崎市市民館条例・川崎市立図書館設置条例の改正	1,640,454	1,069,417	3	P81
39	20302040	社会教育関係団体等への支援・連携事業	その他	生涯学習団体や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、活動や市民との協働によるまちづくりに資する事業等について、補助金の交付や協働での事業実施、求めに応じた助言等を行います。	●生涯学習財団に対して補助金の交付や助言等を行い、財団による生涯学習活動の支援、多様な主体と連携などを促進 ●川崎市PTA連絡協議会等に対して補助金の交付や助言等を行い、児童生徒の健全な育成とPTAの生涯学習活動の充実に寄与 ●川崎市地域女性連絡協議会に対し、補助金の交付や助言等を行い、平和・人権や男女共同参画等に関する学習・実践、情報交換などの地域活動を充実 (財団補助事業参加者数のR4目標9,000人に対して8,140人、R5目標9,500人に対して8,735人)	142,241	142,239	4	P83

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
40	40802020	文化財保護・活用事業	その他	市民の郷土に対する認識を深め、文化の向上と発展に貢献するため、文化財の適切な保存と活用を進めます。	●「川崎市文化財保存活用地域計画」については、策定懇談会を3回開催、川崎市文化財審議会3回、川崎市社会教育委員会議で4回意見聴取しながら、「計画(案)」を作成し、市民説明会やパブリックコメントを経て、予定どおり策定 ●指定文化財の保存修理は、下原遺跡出土土器、細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器等について実施 ●専門的な知識を有する文化財ボランティアの育成・確保については、市内の庚申塔について「川崎市石造物調査報告書」の追跡調査のほか、地名資料室の教育普及事業の運営補助等延べ35日活動 ●埋蔵文化財の発掘調査は、早野上ノ原遺跡第7次調査、下作延巳ノ谷遺跡第14・15次調査、末長遺跡第7地点等適切に実施	71,706	51,682	3	P85
41	40802070	橋樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	その他	古代川崎の歴史的な文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橋樹官衙(たちばなかんが)遺跡群」(橋樹郡家跡と影向寺遺跡)の保存整備・活用・調査研究を進めます。	●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく保存管理・活用については、有識者会議を3回を実施 ●復元倉庫の立柱イベントに90人、復元工見学会に350人、茅葺見学会191人、史跡に隣接する橋小学校との連携授業(3年生2回・6年生2回計541人)、史跡めぐり2回で63人、橋樹学講座3回で155人、発掘調査現地見学会1回で86人、野川小学校6年生見学会40人が参加したほか職員の講師派遣3回で350人の市民等に講義を行い、各種活用事業の参加者目標の390人を大幅に上回る1,866人が参加 ●整備基本計画短期計画第1期の緑地整備及び建物復元工事を完了	144,594	191,221	2	P87
42	40802100	日本民家園管理運営事業	施設の管理・運営	国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の充実を図るため、「日本民家園」を運営します。	●江戸時代の古民家の野外展示(野外施設であることから気候の影響を大きく受けたため、年間来園者数:目標138,000人のところ、実績115,373人、来園者アンケート満足度:目標97%のところ実績88.8%) ●伝統的生活文化に関する企画展示(2回) ●調査報告や資料目録をオンラインで公開するなど公式サイトコンテンツ充実を図るとともに、コロナ禍で中止していた夜間公開を再開するなど各種事業を実施 ●古民家の耐震補強工事を実施 ●日本民家園運営基本方針を策定	501,975	474,770	4	P89
43	40802110	青少年科学館管理運営事業	施設の管理・運営	自然・天文・科学の各分野において、市民への科学知識の普及啓発や科学教育の振興のため、市内唯一の自然科学系の登録博物館として、「青少年科学館」(かわさき宙と緑の科学館)を運営します。	●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの展示の充実(年間来館者数:目標291,000人のところ、酷暑等の気象条件の影響などにより実績238,240人) ●自然・天文・科学関係の講座・講演会・実験教室等、教育普及の取組の推進(博物館事業参加者数:目標156,000人のところ、酷暑等の気象条件などの影響により実績99,745人) ●研修会の実施等によるボランティアの育成、市民活動団体等の支援(実施回数:10回) ●生田緑地における他博物館や美術館との連携事業の充実(実施回数:2回) ●東海道かわさき宿交流館における出張企画展「誕生100年プラネタリアムの秘密」の開催(2月3日～3月10日。2月23日は、交流館にてプラネタリアム投影を3回実施)	137,706	130,233	4	P91

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の 中核拠点としての耐震性を確保す るため、建替えの取組を進めます。	●令和5年10月に新しい本庁舎の供用を開 始(令和4年度に完成予定だったところ、新型 コロナウイルス感染拡大の影響により遅れた もの) ●第2庁舎解体・跡地広場整備工事の推進	2,882,496	22,190,598	4	P●●	①「政策体系別計画に記載 のある事務事業」及び「施策 を推進する経常的な事務事 業の中でも特に重要なもの や進捗に遅れのあるもの」を掲 載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や 地域経済の活性化を図るため、かわ さきWi-Fiの運用を行うとともに、地域 情報の効果的な発信を図ります。公 共データを市民サービスやビジネス につなげるため、オープンデータの 公開を進め、その効果的な活用を 推進します。	●かわさきWi-Fiの新たなサービス、各区のいこいの 家、ヨネッティ王禅寺等への導入、及び出張 所へのアクセスポイントの増設 ●川崎市LINE公式アカウントとかわさきアプリ を活用した情報発信(川崎市LINE公式アカウン ト友だち登録者数: 目標50,000人、実績 49,896人) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業 者等登録数: 目標400団体、実績392団体) ●更なるオープンデータの公開(公開データ セット数: 目標400件、実績404件)(公開データ の月平均ダウンロード数: 目標6,500件、実 績6,917件)	25,113	28,725	3	P●●	②市民サービス等の分類を 記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立 ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォー メーション(DX)推進プラン」に基づ き情報関連施策の進捗管理を進め るとともに、マイナンバー制度の効 率的・効果的な運用を図ります。	●他の自治体等とのマイナンバーによる情報 連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口 の設置及び健康保険証利用の登録作業の実 施(マイナポイント申込等の支援件数: 実績 44,645件) ●「川崎市デジタル・トランスフォーメーション メーション(DX)推進プラン」に基づく取組の進捗管理の 実施及びプログラムの改定 ●ワークスタイル変革に向けたテレワークの 更なる推進や本庁舎建替えに伴う無線LAN 環境の整備・市庁舎のスマートフォンの 実施及びRPA等の活用による業務プロセス 改革を推進(AIやRPAを導入した業務の件数 (累計): 実績50件) ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施 (実施回数: 28回)	289,816	225,987	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請 が可能な電子申請システムの構築・ 運用や、市民ニーズが高い施設・窓 口等でのキャッシュレス決済の導入 を推進するなど、デジタル技術を活 かして利便性の高い行政サービスを 提供します。	●電子申請システム「オンライン手続かわ さき(e-KAWASAKI)」の安定的な運用(電子申 請システムの利用件数: 目標500,000件、実 績519,451件) ●国の環境整備等による、オンライン化に課 題のある手続のオンライン化の実施(オンラ イン申請が可能な手続数: 実績2,734手続) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大に よる利便性の向上(施設・窓口数: 目標54、 実績62、決済比率: 目標20%、実績14.6%)	81,844	65,635	3	P●●	④令和5年度に実施した主な 取組の実績を定量的な数字 を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協 働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施 行100周年を迎えることから、本市の さまざまな魅力、ポテンシャルを市内 外にアピールする機会と捉え、各種 事業や情報発信等を展開します。	●オール川崎市の推進体制である実行委員 会の運営(参画団体数: 383団体) ●市制100周年に向けたPRの実施 市内主要駅におけるシティレッシング、PR動 画や広報冊子の作成等 ●市制100周年記念イベントの実施 「Colors.FUTURE.Summit2023」、「みんなの川 崎祭」等	166,965	170,962	2	P●●	⑤令和5年度の予算額及び 決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション 推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民の シビックプライドの醸成及び対外的 な都市イメージの向上を図ります。	●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅 力発信 ●X、Instagramや動画等を活用した情報発 信 ●民間企業等との連携によるプロモーション の推進 ●「かわさきスペシャルサポーター」事業 SNSによる情報発信、広報誌出演、コラボ事 業の実施 ●ブランドメッセージの理念であり川崎の価 値である「多様性」をより多くの市民に共感 をもって受け止めてもらうための、川崎ゆかりの 著名人が詠んだ「5・7・5作品」を収録したデジ タル絵本の公開と、川崎への思いを広く市民 から募集する市民参加型企画「かわさきいろ いろ5・7・5」の実施及び入賞作品を収録した デジタル絵本の公開	45,543	44,704	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント 等	海外からの視察受入れや(公財)国 際交流協会との連携により、行政だ けでなく市民による国際交流を推進 します。	●川崎市長をはじめとした訪問団が韓国・富 川市を訪問し、富川世界B-boy大会開幕式・ 大会視察その他市内施設視察を実施 ●ウーロンゴン市との交流について、川崎 ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受 賞者と、ウーロンゴン市副市長とのオンライン 交流会を実施 ●ラテンアメリカ及びカリブ海諸国グループ所 属の大使等が川崎港を訪問し、川崎市長との 意見交換及び川崎港・川崎マリエン視察を実 施	36,886	26,106	3	P●●	⑦参考資料における当該事 務事業の評価シートの掲載 ページを記載